

ちば通研だより No.494

千葉県手話通訳問題研究会（発行責任者）米田 市子（編集者）渡辺 正夫
住所：〒260-0022 千葉市中央区神明町 6-2 小川ビル 2階
FAX：043-247-1201 E-Mail：syuwa@nifty.com URL：<http://syuwa-chiba.la.coocan.jp>

ちば通研 2024年度のスタートです

緑がまぶしい爽やかな季節を迎え、いよいよ新年度がスタートしました。

4月21日（日）、千葉市中央コミュニティセンターにて、定期総会が開催され全ての議案に承認をいただき無事に終了することができました。これも一重に会員の皆さまのご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

2023年度の会計から複式簿記を導入することとなり、会計処理の方法も変わったため、専門用語や基本的な仕組みについて丁寧な説明が必要とのご意見もいただきました。いただいた貴重なご意見を参考に検討し、ご理解いただけるよう会計の透明化を図って参ります。

この数年でオンライン（Zoom）での参加が容易になり、これまで以上に学習の機会が増えました。ちば通研の学習会だけでなく、全通研主催の学習会もオンラインで参加ができます。さまざまな機会を活用して全国の仲間とも繋がってください。学びは聞こえない仲間の支援や手話通訳者制度の理解に繋がります。知識を蓄え地域での活動に活かしていけるはず。各地域で聴覚障害者理解に繋がる活動ができるよう学習していきましょう。

全通研は今年50周年を迎えます。

全国1万人の会員が、聞こえない人々の暮らしを見つめ、聴覚障害者の福祉制度と手話通訳制度の発展を求めて聞こえない仲間と共に運動してきた50年です。全国の仲間と共に祝いし、またここからみんなの手で未来にバトンを繋いでいきましょう。

（会長 米田 市子）



4月22日時点でのちば通研の会員数は211人
（読者会員会員数は9人）
2024年度の目標数は330人です
数は力！みんなで会員を増やしましょう～

全通研創立50周年記念 シンボルマーク
愛称は「ふいーる（feel）」です。可愛がってね。



2024年度定期総会報告



4月21日(日)、千葉市中央コミュニティセンター6階講習室4にて、2024年度定期総会を開催いたしました。3団体の連携を一層強めていくために、今年度から来賓をお招きすることになりました。千葉県聴覚障害者協会から活動運営委員会副委員長高橋益代様、千葉県手話サークル連絡協議会から会長外口晴久様(集団視聴会場より)にご臨席を賜りました。

主な活動内容は以下の通りです。

【活動および決算報告】

- 南総地域での地区講座を2回行い、仲間がつながり、連携することの大切さを確認し合うことができた。
- 会員目標数に4人及ばなかったものの、新規会員数が退会者数を上回った。
- 安否確認訓練で、メールが届かないケースがある。連絡担当者のアドレスがGmailの場合、変更する必要があるかもしれない。
- 会計の「見える化」を図るため、2023年度より会計を単式簿記から複式簿記に変更。
- これまで報告してこなかった、特別会計についても報告を行う。

2023年度会員数 316人←

＜総会参加者＞←

会 場 42人←

集団視聴 46人←

個人視聴 10人←

委 任 162人←

合 計 260人←



会場の様子

【活動および予算計画】

- 会員目標数 330人。
- ちば通研だよりデータ配信の開始(4月から申し込み開始)。
- 魅力的な学習の企画を予定。
- 講師派遣先の開拓を検討。
- 楽しく未来社会学習班の再開。
- 会計担当を1人から2人に変更。

※質問のあった会計処理につきましては、別に説明の機会を設けたいと思います。

「全通研は50周年だよ！！」メッセージ 会長 渡辺 正夫

全通研は、2024年に創立50周年を迎えます。この記念すべき50年を迎えることができましたのも、これまで活躍された先輩をはじめ、さまざまな形で支えてくれた会員や関係団体のおかげだと思います。

この半世紀は、「聴覚障害者福祉と手話通訳者の社会的地位の向上」をめざして運動を進めた年月でもあります。しかし、手話通訳者の身分保障は未だ確立されていません。このことを実現するためにもこれからも力を合わせて頑張りましょう。

ちば通研講座Ⅰ 報告

4月21日(日)、13時40分から2時間ほど千葉市中央コミュニティセンター6階講習室4においてちば通研講座Ⅰをハイブリッド型で開催しました。

参加者は、会場24人、集団視聴会場9会場73人、個人10人の合計で107人(内ろう者15人)でした。

「『災害に備えて』～あなたは避難所に行きますか～」のテーマで、講師は公益社団法人SL災害ボランティアネットワークの代表理事であります片桐卓氏でした。

能登半島地震、愛媛高知地震などがあり、身近なテーマであったため大変興味深く聞いてくださった方が大勢いました。

災害時に必要な物を具体的に取り上げて説明していただき、また、知識だけでなく訓練を繰り返すことの大切さを改めて学ぶ機会になったのではないのでしょうか。

久しぶりのオンラインでの開催であったため、音声などの不具合があり、皆さまにはご迷惑をおかけしました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

(組織部長 野島 晃)

ちば通研講座Ⅰ 感想

ろう者5人、サークル員3人、班員1人の計9人で集団視聴しました。前半は声が小さくしか出せず、サークル員に手話と資料で必死に見てもらったり、手話通訳の画面サイズであたふたしたりしましたが、皆さん真剣な表情でした。避難所より自宅での生活がより良い、避難リュックは一人一つ、懐中電灯は一部屋に一つ準備など、実際にすぐに使える災害対策を学びました。終了後には地域の災害対策についてろう者、サークル員と共に話し合いました。災害は、日頃から不安に感じているテーマですので、とても参考になりました。

(習志野班 春山 直美)

最近各地で地震が頻発しており、大変興味深い内容でした。

地域のハザードマップ、福祉避難所(要配慮者ための避難所)の存在等々を、自分の地域の方々に発信したいと思いました。いざという時に慌てないように日々の訓練と心掛けが大切で、家族分×3日分の備えなども改めて確認が必要とのことでした。

ニュースで、能登半島地震のときに手話通訳が常駐する2次避難所に聞こえない方々が集まる場所ができたと聞きました。そのようなことも当たり前になると嬉しいと思います。

(船橋班 真子 久美)

ちば通研講座Ⅰの質疑応答から(概要)

質問：死傷者数のスライドで「冬18時、風速8m/秒の場合」とあるが条件によるか？

回答：この条件が暖房を使い、夕食で火を使うなど、最大の被害がある時間帯である為、例示として出しているもの。条件により被害は変動する。

質問：台湾地震の避難所運営が能登半島地震と比較して雲泥の差があるが違いは？

回答：台湾は、日本の過去の災害対応を参考にして、訓練を日常的に行っているため。

渡辺裕美さんから

東日本大震災の飯岡での体験で避難することの大切さを痛感した。津波で亡くなった方が悔やまれてならない。

回答：家に戻る時は、津波警報が解除された事を確認してから行動するように。

(文責 広報部)

「ろう重複者ととともに よしえが語る！」 Vol.2

千葉県ろう重複障害者親の会“わの会”設立
五十嵐 昭男

子どもがろう学校(高等部)に進学し、私は長年PTA会長をしていました。

都内には当時9つの聾学校があり2か月に1度程、全校の校長、教頭、PTA会長、副会長の会議があり、そこで多くの方々と知り合い様々な情報を入手できました。その頃の私は、ろう重複障害者が学校を卒業した際には、国なり自治体が作った施設があると勝手に思っていました。しかし、実際あるのは知的障害者用の施設ぐらいでした。手話などをコミュニケーション手段とした、ろう重複障害者用の施設がないのだと知りました。その中で、山本おさむさんの「どんぐりの家」でも有名ですが、埼玉県には親や関係者で作った、ふれあいの里どんぐりがあることを知り、施設長の山口さんに話を聞きに伺いました。また、都立立川ろう学校のろう重複の親が中心となり、作業所かたつむりを作り、施設作りに向けて頑張っているということを知り、話を聞きに伺いました。そこで自分たち親がまず動き、様々な人の協力を得て作っていくしかないことを知りました、そして、その大変さを痛感しました。千葉県の状況を全く知らない私は途方にくれました。

そんな折22、3年前のことだと思います。東京都のろう重複障害者施設“たましろの郷”の初代施設長となる花田さんとは以前より話す機会があり千葉県でもろう重複障害者施設を作る動きがあるらしいと情報を得ました。それには、全通研の川根さんという男性が関わっているようだから、話を聞きに行ったらよいと言われ、早速コンタクトを取りました。しばらくすると連絡があり、千葉市に向かいました。行くと川根さ

んの姿はなく、私と同年代の女性二人がおり、ろう協が施設建設を検討しているのに、何故親が動かないのかと結構な勢いで責められました???この人は何故千葉聾の親でなく私に言っているのだらうと思いましたが、状況は把握できました。今思うに攻め立てた女性は、飯泉さんに違いないと思っています。早速、千葉聾学校のろう重複の親に会いに行こうと思い全通研にコンタクトを取ってもらったのですが、なかなか良い返事がもらえず日々が過ぎました。その後、親と藤田先生にどうにか会うことができました。

当初、親は後ろ向きでした。本当に作業所、施設ができるのかと猜疑的でしたが、埼玉、東京の話をし、まずは親が動かなければならぬこと、千葉県の親はいかに恵まれているかを説明しました。おそらく全通研が頑張ったのでしょう。藤田先生が親を説得してくれたのであろう千葉県ろう重複障害者親の会“わの会”を設立することができました。“わの会”は手話、輪の意味を込めました。その後、千葉市、我孫子市で打ち合わせを重ね、石川先生も参加してくれるようになりました。

さらにその後、千葉県聴覚障害者協会の植野さんともお話し、千葉県聴覚障害者協会、千葉市聴覚障害者協会、千葉県手話通訳問題研究会、“わの会”の4団体をもって千葉県ろう重複障害者施設を作る会を結成することになりました。そして現在にいたります。(※親の会は現在家族会と名称変更しています)今後ともよろしく願います。

次回に続く⇒

特集 全通研創立50周年記念 ちば通研版 「全通研とわたし」

VOL.5

「私流のかかわり方」

八千代班 小川 泉

以前、ちば通研40周年記念事業委員会に携わっていたご縁で、今回寄稿をさせていただくことになりました。全通研との関わりを中心に、活動が続けてきて感じたことなどを書いてみようと思います。

私が手話を学び始めてから今年で21年目、全通研に入会してからは16年目となります。2014年に八千代班の副班長、翌2015年に班長となり、地域班会議に出席するようになってからちば通研との関わりが深くなりました。地域班会議では、「班の活動をどのようにするか」「班員を増やすことが難しい」など共通の問題点について意見を交わしていました。他市の班長のお話を聞きながら、八千代市の良いところや足りないところを認識することができました。

また、災害時の安否確認メールが始まったのもこの頃でした。最初の訓練メールの時は慣れていないため、回答が来ない班員に改めて連絡をするなど確認が取れるまで時間がかかりました。以降、毎年訓練メールが行われていますが、いざ災害が起こると携帯電話そのものが使用できなくなることもあるため、班員同士でのつながりは普段から密にしておくことが大切だと思っています。

班長をしていた頃、ちば通研40周年記念事業委員会のお話をいただき、自分にできる範囲でお手伝いできればと考えお受けすることにしました。委員は養成講座を一緒に受けたメンバーが多く、ちょっとした同窓会気分を味わいながら会議に参加していました。記念誌の作成をするにあたっては、班員が保管している「ちば通研だより」のバックナンバーをお借りしたり、日佐戸さんのご自宅にインタビューに行ったりしたことを思い出します。後半になると現在のN-Actionに携わる若手メンバーが委員会に参加してくれるようになりました。先輩方に過去の活動についてお伺いしながら、若い世代への働きかけの話もして、ちば通研の過去・現在・未来を感じることができました。



【日佐戸さん宅 2017/3/18】

個人的には手話通訳者になって数年の頃で、八千代市でこぢんまり続けていた手話活動の世界が大きく広がった時期でもありました。ちば通研の会議や委員会で初めてお会いする方もいて、千葉県内で活動している人がとても多いことを改めて実感しました。

ここまでちば通研との関わりについてお話してきましたが、最後にサブタイトルにした「私流のかかわり方」について少し触れてみたいと思います。

ちば通研に限らず手話に関わる活動全般の話になるのですが、今日に至るまで心身とも無理のない形で続けてきたので、それが「私流のかかわり方」なのだと思います。今は職場環境が変わり活動を制限せざるをえない状況なのですが、無理なく長く続けていければ今後ちば通研と深く関わるタイミングがまた来るかもしれません。その時までは一会員として携わっていきたいと思っています。

医療班コーナー

腰痛で悩んでいませんか？

「腰」は上半身を支える働きと、下半身からの衝撃を和らげる働きがあり大きな負担がかかっています。腰痛は、年齢を重ねると多くの人が経験します。

原因

1, 整形外科的原因

a. 椎間板ヘルニア

クッションの働きをしている椎間板にひびが入り、中の髄核が飛び出して後ろの神経を圧迫します。20代~40代に多く腰痛から始まり、その後お尻から足へ痺れや痛みが広がります。

b. 脊柱管狭窄症（せきちゅうかんきょうさくしょう）

神経が通る脊柱管が狭くなり、神経を圧迫します。40代後半から発症し椎間板ヘルニアの症状に加え、間欠跛行（かんけつはこう）が起こります。これは、痛みで歩けなくなり休むとまた歩けるようになる症状です。

c. 圧迫骨折

骨粗しょう症により、骨が弱くなり椎体が押しつぶされるように変形します。痛みが無くても身長が縮んだり背中が丸くなると圧迫骨折の可能性もあります。

その他にも腰痛の原因は様々です。知りたい方は医療班まで！

2, 整形外科以外の原因

a. 腎結石、尿管結石

腎臓や腎臓から膀胱に尿を流す尿管に石ができ、尿の通りが妨げられ、溜まっていくことで痛みが起こります。

b. 内臓系疾患

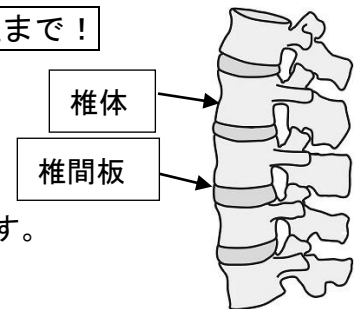
婦人科系疾患の子宮内膜症や子宮がんで腰痛が起こる場合があります、他に下腹部痛や排便痛が起こる場合もあります。また、癌が腰椎に転移した場合も腰痛が起こります。

c. 生活習慣

デスクワークなどで長時間悪い姿勢を続けることで背骨や骨盤が歪みます。また、筋肉の緊張状態が続くことで血流が悪くなり、痛みが出ます。

d. 運動不足、ストレス

運動不足で筋肉や関節の動く範囲が狭くなり、姿勢を保つ筋肉が衰えます。脳には痛みを和らげる機能が備わっていますが、ストレスによりその機能が弱くなり、痛みを強く感じるようになります。





e ~ 会報

2024年4月19日発行（第195号）
発行：一般社団法人全国手話通訳問題研究会
〒602-0901 京都市上京区室町通今出川下ル織維会館内
電話：075-451-4743 / FAX：075-451-3281
メールアドレス：NRASLI@zentsuken.net

全通研創立50周年を迎える2024年度がスタート！ ～多くの仲間とともに50年を振り返り、未来を語ろう！～

全通研は、1974（昭和49）年6月に結成し、2024年に創立50周年を迎えます。これまでの歴史を振り返り、全通研の理念を社会全体へアピールし、今後のさらなる拡大をめざして以下の4つの記念事業を行います。

☆記念誌発行

全通研の歴史が分かる基礎資料的なものとして、また会員の学習や運動につなげられるような記念誌をめざし、2024年9月頃に発行・販売します。

☆記念式典・祝賀会開催

2024年10月5日（土）に兵庫県神戸市で開催し、功労者表彰等を行います。記念式典は、インターネットによるライブ配信を行います。

☆記念グッズ販売

シンボルマークとキャッチコピーがデザインされた記念グッズを支部経由、サマーフォーラム in かごしま、記念祝賀会会場で販売します。

☆記念ツアー（実施済）

2023年7月に韓国で開催された WASLI Conference 2023 に併せて会員が参加する記念ツアーを催行し、会議の傍聴や世界各地の手話関係者との交流を行いました。

【渡辺正夫会長のメッセージ】

全通研は、2024年に創立50周年を迎えます。この記念すべき50年を迎えることができましたのも、これまで活躍された先輩をはじめ、さまざまな形で支えてくれた会員や関係団体のおかげだと思っています。

この半世紀は、「聴覚障害者福祉と手話通訳者の社会的地位の向上」をめざして運動を進めた年月でもあります。しかし、手話通訳者の身分保障は未だ確立されていません。このことを実現するためにもこれからも力を合わせて頑張りましょう。



2024（令和6）年度 会員証
有効期限：2025（令和7）年3月31日まで

支部名 _____

会員名 _____

住 所 _____

一般社団法人
全国手話通訳問題研究会
〒602-0901
京都市上京区室町通今出川下ル 織維会館内



2024年度会員証は50周年シンボルマーク入り！
記念クリアファイルも会員全員にプレゼントです！

やなぎだハウスの修繕完工式の報告とお礼(令和6年能登半島地震)

聴覚障害者災害救援対策本部は、被災地での支援活動を支えるために聴覚障害者災害救援基金の募金呼びかけや物資支援等に取り組んでいます。被災したきこえない人が奥能登に帰るための復興へ向けて、能登就労継続支援事業所「やなぎだハウス」は被災者の支援拠点の役割も担います。そのため、中央対策本部と石川県本部との相談の上、皆様からいただいた聴覚障害者災害救援基金(支援金)のうち616万円をやなぎだハウス修繕費として修繕を進めてきました。

4月末に「やなぎだハウス」の修繕が完工することをご報告し、支援をいただいた皆様に改めてお礼を申し上げます。(詳細は、全日本ろうあ連盟ホームページに掲載)



【ちば通研だよりをデータ配信します】

「郵便料金値上げに伴う対応について」を3月22日に印刷して皆さまに配布しました。郵便料金は、この秋頃には改定されることが見込まれています。

現在、ちば通研では、ゆうメール特約を千葉中央郵便局と契約して特別料金で郵送しています。このゆうメール特約も今後改定されると聞いております。

そこで、会員の皆さまに、現在、紙ベースでちば通研だよりを郵送しておりますが、それを希望者にはデータベースで送るように切替を順次行っていきます。

郵便料金値上げに対応するための方策の一つです。さらなる方策が紙を節約することが出来ます。これがデータ配信をする大きな理由です。

巷では、A3の紙が品薄となっていたり、紙の値段が高騰したりしています。この紙を節約することは自然保護にも繋がります。

会員の皆さまには、このような理由から、是非とも、データ配信にご協力をお願いします。

【データ配信希望者】

- 1 データで送ってほしいと希望する会員に配信する。
- 2 申込フォームで4月1日から受け付ける。
<https://forms.gle/7GqE5cZnZFF4AYRw7>
- 3 2024年5月からデータ配信を開始する。
その後に応じた会員は随時切り替えていく。



申込QRコード



VOL.4

わっこ (矢吹和夏子) 今月のオススメ!



『マンガで読む手話通訳事例集3』 1,100円

早くも事例集3が発売されました。それだけに通訳現場での考えさせられることの多さを改めて思い知りました。まだ、勉強中の私には先般発売の1・2は実習の時のイメージ作りや準備段階でも大変為になりました。今回の3はコロナ禍で変化している生活環境やコミュニケーションの方法の取り方等、問題提起がされています。しかしあくまでも正解はこれと明言はされてはいませんがこれを機に地域班、受講している仲間又サークルでも話し合うきっかけになればいいですね。考え方の一つとしてそれぞれの場面向き合う1冊になればと思っています。行事やイベントの際には是非、ちば通研の書籍販売コーナーにお立ち寄りください。

※申込は、ちば通研事務所まで アドレス syuwa@nifty.com
 ◎ちば通研では書籍等で販売による売り上げの一部をちば通研の活動に充てています。ぜひ、ちば通研から書籍等を購入頂けるようお願い致します。
 少しお時間が掛かり待ち遠しい気分ですが、ワクワクしている時間も大切です。





保育♡子育て支援班

新入園児にとって、保育園は最初の社会へのスタートとなる場所。4月5月は、子どもにとっても保護者にとっても、そして保育者にとっても緊張の毎日です。

1時間から徐々に時間を伸ばしていきながら、約2週間後には慣らし保育も終えほとんどの子が通常保育に入ります。

初日、大泣きした子は意外に早く慣れ、泣かなかった子は、次の日から気付きます。そしてその状況を受け入れるのにちょっと時間がかかったりします。


今年は0,1歳児混合のクラスに配属されたのですが、1歳児といっても月齢や個人によって発達が大きく異なり様々です。トイレで排尿できる子もいれば、ハイハイやつかまり立ちの子もいます。給食の内容も個々に違い、とても気を使います。

今年76年ぶりに4~5歳児は見直しとなりました保育士の配置基準ですが、未満児については保育士1名に対し、0歳児3名1,2歳児6名をみることになっています。0歳児2名、1歳児7名の混合クラスを保育士2名、子育て支援員1名でお世話をしています。

外遊びの時ベビーカー3台、背中におんぶの状態、歩けることが楽しくていろいろな所を歩き回る子や、滑り台やブランコに乗っている子たちを事故の無いように見守り、補助していくことは至難の業です。

ここで必要なのは保育士間の連携であり、それは手話通訳の現場にも共通していることだと思えます。


(班長 渡辺 裕美)

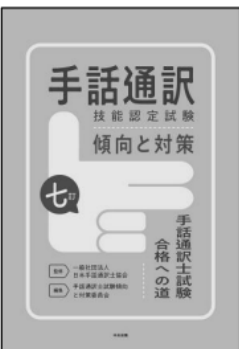


読みたい見たい

2024年4月号(第114号)

一般社団法人全国手話通訳問題研究会
Tel:075-451-4743/Fax:075-451-3281
E-mail:NRASLI@zentsuken.net
URL:https://zentsuken.shop-pro.jp/
Facebook:全通研(zentsuken)
Twitter:@zentsuken_1





七訂 手話通訳士試験合格への道

手話通訳 技能認定試験 傾向と対策

監修:一般社団法人日本手話通訳士協会
編集:手話通訳士試験傾向と対策委員会
発行:中央法規出版株式会社

販売価格 **3,740円**(税込)

手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)の筆記試験対策として、過去の問題などがまとめられています。試験の傾向を踏まえて、これまでの出題実績、項目から頻出テーマの図表解説や一問一答、統計資料も掲載されています。ぜひ、試験対策にご活用ください。

2023年度売上ランキング TOP10

1	マンガで読む手話通訳事例集 2	1,859部
2	統一試験をめざす人たちの学習教材 23	1,800部
3	マンガで読む手話通訳事例集 3	1,341部
4	マンガで読む手話通訳事例集	714部
5	第33回手話通訳技能認定試験模範解答集	440部
6	統一試験をめざす人たちの学習教材 22	323部
7	みんなでめざそうよりよい手話通訳	218部
8	Hello むこうの私 一手で心をつないでー	217部
9	統一試験をめざす人たちの学習教材 21	205部
10	手話この魅力あることば 52(DVD)	194部

●お買い求めは各支部、または全通研お買い物カゴへ
<https://zentsuken.shop-pro.jp/>

私のイチオシ

印西班

推したいことは数々あれど、ここでは研究誌の「随想」をイチオシにしたいと思います。

古くは、「法律家として1年に1度は日本国憲法全文を読み返す」と書いておられた松本先生。憲法をないがしろにする政治屋に読ませたい！ フォトジャーナリスト安田菜津紀さんは東日本大震災で被災された義父を想い「心の歩幅はそれぞれに異なる。だからこそ、本当に人に寄り添うとはどうあるべきか」と問いかけておられます。脳科学者である篠原菊記教授は「手話って最強の脳トレなんじゃないか」と学習意欲がわく嬉しいお言葉。近い所ではNHK連続テレビ小説「舞い上がれ」の脚本を担当された桑原亮子さんはご自身も難聴者。「メールやラインなど便利なツールに助けられているが、文章だけで正しく伝わるか不安を感じている仲間もいる。でも恐れず思ったままを書き連ねていこう」とエールを送り、法学者の木村草太先生は、LGBTの問題を取り上げ、「差別と区別を混同するなかれ」と説き、各国を訪れて恐竜の研究をされた小林快次先生は「世界の共通語は顔の表情やボディランゲージである」と。数え上げればキリがない。どなたの文章も含蓄があり心地良い刺激を受けることができます。またご本人直筆のタイトルと署名もお人柄がしのばれます。とてもタイムリーにその分野での第一人者の原稿を載せてくださる編集部の皆様へ、感謝とアッパレ花まるを！（森）



私の趣味はドライブとグルメです。私のイチオシは、ドライブがてらの「道の駅めぐり」です。道の駅には各地の定番お土産品から隠れたヒット商品、新鮮な地場野菜と手づくりお惣菜などが、ズラリと並んでいます。私は生まれも育ちも千葉県ですが、まだまだ知らない名産品がたくさんあることに驚きました。カゴを持って店内をウロウロし、あらゆる商品に興味津々です。まるで宝探しの気分です。先日、たまたま入った千葉県旭市の道の駅では、売り場にいたレンコン農家さんと話が弾み、美味しいレンコンレシピを教えてもらってラッキーでした。このような地元の方との交流も道の駅の魅力です。これからも全国津々浦々の道の駅めぐりを続けて、食べることで日本を応援していきたいと思います。（井上）



地域班通信

成田班：広島から千葉に転居。1年経過。毎週、通訳Ⅰに通い続けてきた。通訳Ⅰが終わり、通訳Ⅱが始まるまで、2か月間の休息。DIC川村記念美術館、国立西洋美術館、森美術館と廻った後は、浅草演芸ホール、神保町よしもと漫才劇場を訪ね、チームラボも行ってみたいし、南房総でピワも食べたい。と思っていたら、通訳Ⅱが目前。復習しなきゃ。夏休み終了直前の気持ち。(マケドニア太郎)

船橋班：今年は予報が外れ桜の開花が遅くなり、4月になってからのお花見になりました。そのおかげで新年度の始まりに美しい桜を眺め、頑張ろうかなという気持ちになれました。でもきっとまたすぐ暑い暑いとぼやく日々が来ますよね。去年買いそびれたびしょびしょにならない首に巻く冷たいリングを、今年は早めに買おうと思います。(H・T)

六つ星(山武郡市)班：14年間勤めた福祉関係の仕事を、この3月に退職させていただきました。とても学びの多い職場で、手話に出会うきっかけにもなりました。少しの寂しさを感じてはいますが、これからいろいろなことに挑戦してみよう！と考えると楽しくなってきます。まずは、家庭菜園。今の季節は何を植える？なんて考えることも楽しみたいです。

白井班：初めて下総航空基地の「下総さくら公開」のイベントに行きました。桜は、ほとんど咲いていない状態だったので来場者も数十人程度、そのおかげで敷地内をゆっくり見られました。お勧めは「コンビニです」。自衛隊のカレーやグッズがたくさんありました。一度足を運んでみてください。

わかしお班：那須映里氏の講演会が、3月下旬に長生村交流センターで開催されました。TVで見るとより美しい方で、他地域の方々の参加も多く人気のほどがわかります。前に、父親の那須英彰氏の講演で教えていただいた「ナス」は、英彰氏の表現だとの説明や、イスラエルの入国の厳しさなど興味深い内容でした。あっという間の2時間でした。(Y・U)

海匠地域班：小学校の国語の教科書に、さいたさいたさくらがさいたと、ありました。今まさに、どこを見ても桜ですね。国道沿いの、満開の桜。4月9日の雨と風で、見事に散ってしまいました。道路や、車に、花びらが。明日は駐車場や道路の花びら掃除をしないと。朝、少し早起きになりそうです。

富里班：3月の終わりに手話通訳者養成講座の同期生から、近くに来たので会えたらと連絡がありました。1時間程の短い時間でしたが、思い出話に花が咲きました。遠い道を通ったこと、緊張したこと、挫折したこと…大変なことはいっぱいあったけど、その経験と出会いは宝物。彼女はもうすぐ埼玉に引っ越してしまうとのこと。またいつの日か再会することを約束しました。

市川班：いよいよ新緑のシーズン到来！暖くなり新緑の下でグーっと深呼吸、リフレッシュには最高ですね。いざ屋外へ！皆さまは何をされますか？私はBBQ。青空のもとお肉が焼ける煙とにおいとビール最高ですね！市川市のおすすめは江戸川河川敷のBBQ場。広々とした河川敷の芝生の上でのBBQ、解放感最高です。

千葉市班：初めて会った時からおばあちゃんだった。成人して手話の世界で再会。「野口さんちのお嬢さん」そう呼ばれ照れくさかった。いつだって優しい笑顔で話しかけてくれた。今年度の全通研会費を早々に預けてくださり、そっと旅立たれた。さみしい。半世紀もさきの世をたくましく生きた方とお仲間であられたことは誇り。ありがとう。

鎌ヶ谷班：インターネット通販での詐欺被害が多いので、ヤフーショッピングや楽天市場など保証がついているサイトで購入してください。(M・I)

市原班：赤点回避に躍起で覚え、終了チャイムで全てを忘れたはずが齢七十を迎えた今、枕の友となり手放せない一冊に。千年以上前の彼女の感性に頷き、こそばっこく笑う。第二六段【にくきもの】・眠たくて横になっている時の蚊の羽音。納言は自分の横面を幾度叩いたかと思えば「いとおかし」。現世、そろそろ、蚊のお出まし時か？

流山班：今年は桜が遅かったと言われるけど、私のイメージは入学式に桜なんですけど。でも考えてみればどんどん早くなって今は卒業式のころが当たり前になってますね。15年ほど前にも関西以南に生息する蝶が千葉でも見られたり…今年の夏も暑いのかなあ。(emiko)

八千代班：気づけばさまざまな団体に所属している。そして4月は総会の時季。毎年「参加するだけでしんどいわあ〜」と思っていた。今年は総会を準備する立場となり、そのたいへんさを思い知った。同時に、多数の出席者がいたことがありがたかった。何もできなくても、参加することで関心を持っていることが示せるのだと思った。

印西班：突然始まった遠距離介護。初めはただのお手伝い、笑顔で余裕たっぷり、私って良い人？帰省の度に状況が変わり平常心ではいられない。頑固者同士の喧嘩で互いに疲れ、涙のあとは美味しいおやつで仲直りの繰り返し。まだ喧嘩できる元気があったなど日々の変化に戸惑いながらも周りの助けに心から感謝。貴重な時間、恩返しかな。

八街班：3月末に人形劇団ひとみ座さんの75周年記念公演を観に行きました。デフパペで活躍されているろう俳優が出演されてました。終演後息子を連れて声をかけたら、気さくな方でたくさんお話しできました。息子(小2)にも良い経験となったと思います。

習志野班：先日、コロナ禍でずっと中止になっていた中学校の同窓会が5年ぶりに開催され、懐かしい方々に会うことができました。この5年間、それぞれの生活もすっかり変わったと話を聞きましたがそれでも、久しぶりに見る懐かしい笑顔に大変励まされました。皆さま笑顔は大事ですよ。今年の通研の活動は「笑顔」で行きましょう！

役員短報

日時：4月7日（日） 9:30-12:00

会場：千葉市中央コミュニティセンター + Zoom

参加者：米田、高橋、折原、原、渡辺、
石鍋、鶴沢、河野、北原、辻、
中山、平野、宮下、渡辺裕、
矢吹（役員候補）

<主な議題>

○三役

- ・会計監査が3月30日に終了し、本日決算報告（案）の印刷・発送をする。
- ・総会議案書と決算報告を一緒に送付する方法について検討したが、監査の開催時期が年度末か年度初めのため難しい。2025年度からは総会前にHPや地域班MLで報告することにする。
- ・総会で会計処理の透明化策について報告する。

○広報部

- ・6月号掲載記事の確認

○組織部

- ・新会員に配布する「入会された皆さまへ」の内容確認。全通研のホームページの会員ページに入るパスワードを知らせている。

<部・班の報告>

○研究部

- ・9月29日のちば通研集会に向けて、話し合いを始める。

○医療班

- ・ちば通研だよりに毎号連載している医療班の記事をHPで見られるようにしてほしいという要望があった。キーワードがないと検索できないなど課題がある。また、ホームページの容量の課題もあり、引き続き検討が必要。

○健康対策班

- ・ちば通研Ⅱのテーマは「頸肩腕」について取り上げる予定で調整中。会員以

外や聞こえない人たちにも広く呼びかけて関心を持ってもらいたい。

- ・全通研の講師派遣を活用する。
- ・開催時期についても再検討する。

○労働班

- ・3月17日に第6回学習会をオンラインで開催した。

○後援会

- ・2023年度は暫定役員だったため、任期は2024年度からの3年間となる。ちば通研から現在の構成理事2人と推薦理事4人は継続で願います。
- ・北総地区については欠員状態なので、2024年度から補充したい。
- ・推薦理事は各ブロックから出ているので、選出方法等地域班会議のときのブロック別会議で話し合う機会を持つ。

○関東手話通訳問題研究会

- ・4月28日（日）、関東ブロック別会議が神奈川県民サポートセンターで開催される。
- ・5月11日（土）、関東ブロック総会が埼玉県障害者交流センターで開催される。

今後の予定

- 5月11日（土） 関東通研総会
- 5月15日（水） 組織部会議
- 5月18日（土） WEB オープンスクール
- 5月19日（日） 協会後援会総会
新芽まつり
- 5月25日（土） 千葉聾学校運動会
- 5月25日・26日 全通研代議員会
- 5月26日（日） 労働班学習会
TMG 学習会
保育・子育て支援班学習会
医療班学習会
- 5月29日（水） 広報部会議
- 5月31日（金） サポーターズ印刷日

お知らせ

○ちば通研ホームページにアクセス
アドレスは以下のとおりです。

<http://syuwa-chiba.la.coccan.jp>

QRコードでホームページに
アクセスできます。

会員専用ページは
パスワードが必要です。



○ちば通研へのお問い合わせ

ちば通研への連絡は下記アドレスへ。

E-Mail : syuwa@nifty.com

○原稿募集

原稿掲載にあたり、150字程度でお名前は本
名もしくはニックネームを明記。

次号の原稿締切は5月15日(水)です。

E-Mail : c-koho@c2ken.sakura.ne.jp

FAX : 043-247-1201 (早朝・深夜は不可)

会費の納入のお願い

2024年度の会費納入をお願いしています。

会費は振込にてお願いいたします。振込先は以
下のとおりです。なお、申し訳ありませんが振
込手数料はご負担ください。複数人まとめての
納入は、全員の名前をご記入ください。

○年会費

会費 10,000円

読者会員 6,500円 (聴覚障害者のみ)

○郵便振込先

口座番号 : 00120-4-708239

加入者名 : 千葉県手話通訳問題研究会

けいわん 110番

<医療的な相談窓口>

滋賀医科大学社会医学講座 (衛生学)

TEL : 077-548-2187

FAX : 077-548-2189

<仲間を守る取組みに関する相談窓口>

FAX : 057-451-3281

*何かありましたら、いつでも、ちば通
研健康対策班に、ご相談ください。

FAX : 043-247-1201

○安否確認の報告はこちらへ

ちば通研では、2014年度から安否確認訓練
をしています。最近は、災害はいつ起きて
もおかしくない状況です。そのため、会員
の安否確認をよりスムーズにするため、専
用のフォームを開設しました。

災害の時は、自分から
アクセスして状況を

ちば通研に報告してください。

<https://forms.office.com/r/5bav1Tct53>



あ と が き

2024年度よりちば通研に入会して通研
だより発行のお手伝いをさせていただく
ことになりました。通訳者資格どころか
昨年奉仕員養成講座の前期を修了した身
で、会員になりたいと言うのは時期が早
いかなとも思いましたが、皆様に教えて
いただきながら積極的に活動していきたい
と考えています。どうぞよろしくお願
いいたします。(YK)

手話サークル員より米内山さんの動画
を送ってもらいました。一話1時間以上
と長いです。音声字幕なしですが魅力あ
る表現で手話初心者でも見入ってしまう
と思います。昨年、逝去されたことがと
ても残念に思います。勉強になりますよ。
時間のある時に細切れでも大丈夫ですの
で、ぜひ見てください。YouTube「手話文
化村」で検索してみてください。(S)